

リーダー☆インタビュー



Digital Berry 株式会社デジタルベリー 代表取締役 赤羽根 康男 氏



「会社は成長を続けることが大切。創業からの20期連続増収をこの先も続け、100年企業を目指したい」と話す赤羽根社長



株式会社デジタルベリー



所在地 さいたま市中央区新都心11-2
ランド・アクシス・タワー19階
代表者 代表取締役 赤羽根 康男 氏
事業内容 クロスメディア総合提案、ホームページ制作、デジタルカタログ制作、印刷物制作 等
資本金 1億円 従業員数 23名
TEL 048-753-9255
<https://www.d-berry.jp>



製造業専門のホームページ制作・クロスメディア提案で業績を伸ばしている創業者でもある同社の赤羽根社長に話を伺いました。

★創業のきっかけと貴社の概要について、教えてください。

赤羽根 創業のきっかけは、学生時代にタイで知り合った先輩の起業の夢を聞いて、その生き方に感銘を受け、自分もゆくゆくは起業したいと思うようになりました。大学卒業後は、大手商社に就職し、営業・商品企画を経験した後、2004年にレンタルオフィスを借り、一人で起業しました。

現在は、ホームページ制作を中心に、デジタルカタログ、印刷物、動画、テレビCMなど、お客様の課題に合わせた「クロスメディア総合提案」を行い、中小企業の情報発信や集客、採用のお手伝いをしています。

★「製造業ドットコム」について教えてください。 **赤羽根** 私たちは製造業に特化したホームページ

制作サービスを展開し、製品や技術の発信、集客、採用支援に取り組んでいます。製造業の多くは部品や技術といった「見えにくい価値」を扱っており、情報発信に苦手意識を持つ経営者も少なくありません。そんな企業の課題を、私たちは一緒に考え、最適なデジタル戦略で解決しています。これまで350社と取引を重ね、「サイトからのお問い合わせ数が5倍になった」とか「採用の応募が増えた」など、うれしい声をいただいている。「製造業ドットコム」サイトでは、製造業がホームページを制作する際のコツや導入事例も紹介しています。

また、企業同士のマッチングや採用につながる取り組みとして、バーチャル展示会を開催しています。参加企業はまだ少ないですが、今年中には50社ぐらいまで増える見込みです。

★テレビ番組に制作協力されているそうですね。 **赤羽根** はい。テレビ埼玉さんの「ググっと！製造業」という番組で、1月から3月の期間限定で

100年続くクロスメディア総合提案カンパニーを目指す！



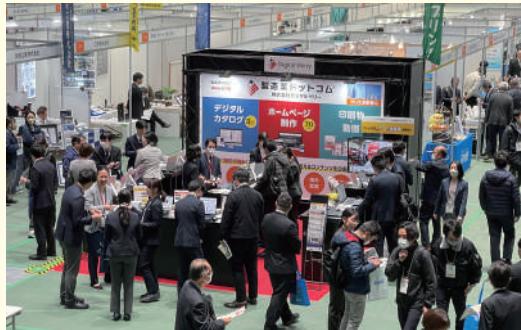
製造業に特化した PR 支援「製造業ドットコム」



製造現場を取材し魅力を発信するテレビ番組（制作協力）



創業 20 周年パーティーでは 300 名の来賓をご招待



彩の国ビジネスアリーナに毎年出展

毎週15分(21:45～22:00)放送しています。工場の中など製造現場や働く人にスポットを当てて、企業の魅力を広く紹介しています。多くの人に製造業にもっと親しみを持っていただきたいという気持ちで始めましたが、出演企業にとっては自社の情報発信につながるほか、自分が働く会社がテレビに出ることや、自分の子どもたちに働く姿を見せられることで社員のモチベーションも上がる好評です。来年も1月からシーズン3が放送予定です。

★「彩の国ビジネスアリーナ」に毎年出展されていますね。

赤羽根 そうですね。2008年から16年連続で出展しております。毎年、会場入り口付近に赤色のブースで出展し、ホームページ制作サービスをご案内しています。埼玉県内の企業、金融機関、学校関係などたくさんの方にお会いできる貴重な展示会ですので、今後も出展を続けていきたいと思っています。

★20周年パーティーは盛大だったそうですね。

赤羽根 2024年に20周年を迎え、お客様や支援機関の皆様など、300人もの方にご出席いただきました。この20年間、お客様や地域の皆様方との信頼関係構築を大切にしてきました。その姿勢を評価いただき、良い関係が築けたことで、これだけたくさんの方にご出席いただけたと思います。

★今後の展開・抱負は

赤羽根 「製造業ドットコム」の認知度をさらに高め、日本中の製造業にとって欠かせない存在となることを目指すとともに、創業から継続してきた「20期連続増収・経常黒字」を今後も続けて安定的に成長していきたいです。

また、2024年4月から埼玉大学オープンイノベーションセンターの客員教授に就任し、アントレプレナーシップ教育にも力を入れ、未来の起業家育成にも挑戦中です。自分自身が一人で起業してから成長してきた経験を伝えることで、埼玉県から多くの起業家が育っていくとうれしいです。

(敬称略)